

各位

2025年12月19日
古河機械金属株式会社

ユニック部門：「佐倉・産業大博覧会 2025」に出展

～地域産業イベントでユニック製品を活用した体験型展示を実施～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ユニック部門を担う古河ユニック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅野 恒二）は、マザー工場が所在する千葉県佐倉市の佐倉草ぶえの丘にて開催された「佐倉・産業大博覧会 2025～あつまれ！佐倉の農・商・工～」に出展しました。

本イベントは、行政、事業者、産業経済団体、福祉団体、市民が一体となり、佐倉市の産業や產品の魅力を広く発信することを目的としています。古河ユニックが出店したブースでは、ミニ・クローラクレーンやユニッククレーンを使ったリアルクレーンゲームを実施しました。整理券を配付するほどの盛況となり、小さなお子さま連れのご家族を中心に、多くの来場者に楽しんでいただきました。

古河ユニックは、今後も、地域社会との共生を目指した活動を続け、産業振興や文化の発展に貢献していきます。



本物のクレーンでリアルクレーンゲーム！子どもたちの笑顔と歓声が広がりました。

■ 展示製品概要



ミニ・クローラクレーン『URW245C』



ユニッククレーン『URG374AW』

・ミニ・クローラクレーン『URW245C』

ミニ・クローラクレーンは、細い通路でも狭い場所でもスムーズに進入可能なコンパクトボディで、クレーン作業では、広く、高く、そして深く、充分なパワーを発揮します。シリーズ展開（0.495t 吊り～2.93t 吊り）の中でも今回展示したURW245C（2.43t吊り）は、クラス最強のパワフル設計で、小さなボディに比類のないパワーとスピードを兼ね備え、抜群のパフォーマンスを発揮します。

・ユニッククレーン『URG374AW』

ユニッククレーンは、「吊る・積む・運ぶ・作業する」という一連の作業をトラック一台で可能にした省力機械です。本機は、ユニッククレーン G-FORCE シリーズの主力機種として、信頼性を備えています。安全性と操作性を実現し、パワフルかつ効率的で、ストレスなく簡単に複雑なクレーン操作を可能とします。

〈問い合わせ先〉

・ニュースリリースに関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR課 TEL : 03-6636-9501

・展示会に関して

古河ユニック株式会社 管理部総務課

TEL : 043-485-5111

■展示会概要

展示会名：佐倉・産業大博覧会 2025 ～あつまれ！佐倉の農・商・工～

展示会の特徴：

行政や事業者及び産業経済団体、福祉団体、そして市民が一体となって産業振興に取り組む機運をさらに高める契機として、市を挙げて佐倉の産業や生産される佐倉産品を広く啓発することを目的とした展示会。商品・特産品・技術・サービスを「見る」「買う」「体験する」ことができます。

主催：商工振興課（商工支援班）

開催場所：佐倉草ぶえの丘 特設会場 千葉県佐倉市飯野 820

会期：11月8日（土）、9日（日）

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を開拓しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,908人 〈単独〉205人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp>

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：菅野 恒二

事業内容：1961年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ・クローラクレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：1946（昭和21）年4月

資本金：2億円

従業員数：480人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawaunic.co.jp>